

# ボーイ隊の

スカウト技能<キャンピング>

## ターゲットバッジ課目



## の訓練と

2008.4.6

ビーバー隊ご招待

の

桜の下で「わび・さび」の心「野点」

ボーイ隊は、今回は満開のサクラ下、ボーイ隊長自宅脇の公園で「ロープ結び」の訓練を行いました。所要あり、と隊長不良、いや体調不良で参加スカウトは2名なり。でも、訓練途中の一服に「野点」をやること聞きつけたビーバー隊をご招待したので、少しはにぎやかになりました。



サクラの花も咲き誇り、見ごろも今週が最後のようです。



国旗掲揚。「敬礼！」



野点の準備ができるまで、ボーイ隊がビーバースカウトにロープ結びの指導です。約2名戦意喪失中



「ほら、ほら、8の字がこんなにできた。」なかなか上手でないかい。

### これよりビーバー隊お待ちかねの野点に突入じゃー！

これは「のだて」と呼ばれるお茶遊びのひとつで、漢字で書くと「野点」。文字通り、野外でお茶を点てて味わう会なのである。この「野点」を、なんとなくかきこまったイメージを持っている人もいるかもしれませんが、しかし実際は自然を身近に感じながら四季の移ろいを愛で、みんなでおいしくお茶をいただくというのが一番大切な「ルール」なのだ。思っているほど堅苦しいものではなく、だれでも手軽に楽しめるものなのだ。たぶん？

右写真は、M副長愛用のモンベル社の野点セットである。これでお茶を点てて焼酎を割って飲むと最高なのだ。家族曰く「それって野点でなく、晩酌なんじゃない」 M:「世間一般ではそうも言う」





野点は「野掛(のがけ)」といわれ、古くは戦国時代などの大名たちが野遊びや狩りを楽しむことを指していた。その野掛で茶会を開いていたことから、野外でお茶を点てることや茶会を催すことを「野掛」と呼ぶようになったのだ。ちなみにお茶に関する有名人、千利休が点てた「ふすべ茶」も野点と同じ意味で使われていたそう。野点には、特に決まった道具が必要なわけではなく、最もシンプルな準備物はお茶を点てる器具の茶せん(茶杓)と茶碗、抹茶をすくう茶杓(ちゃしゃく)があれば十分で、さらに棗(なつめ)や茶巾をプラスすれば、もう立派な野点キットが完成だ。おっと、肝心の抹茶は忘れてはいけない！お茶に使う湯はあり合わせのもので沸かせばOK。千利休の「ふすべ茶」は、そこに松の葉をくべたもの。こんなふうになんげか工夫で、楽しいアウトドアティーパーティーを始めることができるのじゃ。「フム、フム。なるほどネ！」

インストラクターの流儀は、「表千家」だそうですが、M副長は戦場での野点、薩摩流覇世千家(はよせんけ:鹿児島弁で「早くしなさい」の意味)です。スカウトとインストラクターが座っている畳は、M副長の書斎(正確には寝室と言う)のフローリングに敷いてあるニセ畳である。今回の野点のためひっぺがして来たものです。これで雰囲気为数段アップしました。非毛氈があればますます良いぞな。\*覇世千家とは、M副長が茶道会に広めて家元なろうとしている架空の流儀である。只今、お弟子さん募集中！



気軽なはずの「野点」であるが、基本は行儀作法である。それでは、「本日はお招きいただきまして……」



「ありがとうございます。」サクラ吹雪の舞う中なかなか良い風情だ。



本日のお茶菓子は、季節ながらの「桜餅」です。葉っぱは塩漬けたサクラの葉なので食べてもOKなのだ。



まずは、隊長から頂戴いたします。隊:「結構なお手前で」





このスカウトは、幼稚園で茶道も習っているようで、かなり作法・道具について熟知しています。恐るべし！



それでは「頂きます」が、それにしてもかなり熱い。フー、フーして飲むのだー。



ボーイ隊も頂きます。茶道章に向けての第一歩である。M副長は、「おちゃ」ではなく、「おちゃけ」が欲しいなー。



ちなみに、口から出ているのは、ペロではありません。あしからず。



右側のスカウトはお琴を習っているようです。来年は琴の調べをバックミュージックに野点をやりたいものだ。



今度は、ボーイ隊がお手前を「シャカ・シャカ・シャカ」なんか普段と違いおしとやかでねーか！



ビーバー隊長より、糸を通した針を持ってくると追加連絡があり、何に使うのかと思っていたら、サクラの花びらをぶっ刺しネックレスを作るそうだ。フーン。そう言う事か。なるほどねー。



ひたすら、花びらを刺します。



単純作業にそろそろ飽きてきたようだ。



チクン、チクン。全然長くならない。現在のところ全長1cmなり。



隊長のは、かなり長くできました。でも、泥で黒くなってしまったようだ。



ビーバー隊は、木の葉のシールをもらいこれで解散。一人小枝章をもらったようだ。お茶もおいしかったようである。

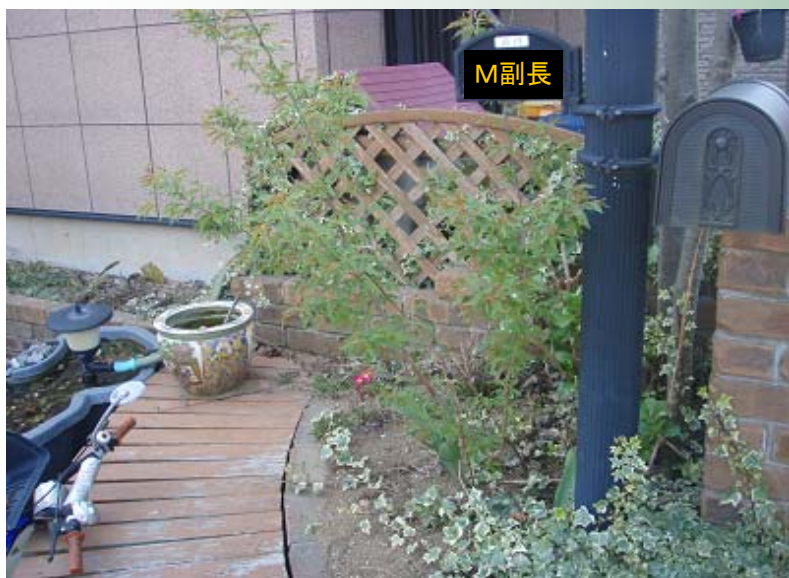


一服も終わり、ボーイ隊は、本来の目的のロープ結び訓練に戻ります。あーやって、こーやって、ここでギュウツと

～ これらのページの文と写真は、ビーバー隊父兄として参加したカブ隊M副長によるものです。～  
\* 今回の活動報告アップは、カブ隊Y副長に遅れをとってしまった。

# 今回の番外編

下の左側の写真は、たぶんサクランボ「佐藤錦」の木だと思われる。自宅で食べた時の種や、M副長が会社へ届いた贈り物のサクランボの種を持ち帰ったものを、現ボーイ隊員が玄関脇に蒔いたものが育ったのである。アメリカンチェリーの種も蒔いたと言っていたので、品種は定かでないようだが、まあ 良いか！「佐藤錦」が発芽したとしても接木なので、台木の「カイドウ」とか「山桜」の可能性もある。発芽から3年は経っているのに、いまだに花が咲かないので今後の生育を見届けねばならない。とりあえず、果物の種とかなんでも蒔いてみて観察するのも楽しいぞ！ちなみに梅干は蒔いても発芽しない！とは我が家のボーイ隊員の研究結果である。当たり前だちゅうの！



## 参考 サクランボ「佐藤錦」



## サンダーバードならぬヨンダンバードの基地作り



デンリー宅より、カナディアンカヌー(ヨンダンバード4号)を預かることになり、スペースの有効活用のため、カーポートに吊るして保管する計画を実行することになりました。今回の秘密兵器はホストロープ(100kgまで持ち上げ可能だそう)を2個使います。1セットにレールが4列ある動滑車と、定滑車が2個組み合わせられているので、少ない力で持ち上げられるそう。カヌーはカタログ記載重量の35kgであるが、軽々と1人で持ち上げることができました。だが、問題発生！！カヌーを吊り下げた下に、愛車(今週末納車予定)新ヨンダンバード2号が入んねーでねーか！。出勤の際に、ルーフのキャリアに載せる予定が、これは真ん中の高い位置で吊らなきゃなんねーな。本日の作業は、日没コールドで終了。\*教訓:そなえよつねに(高さは必ず計測してからとりかかるう！) まあ、今回は吊り上げ実験ということにしとこう。ちなみに手前の赤い自転車はヨンダンバード8号だそう。



～ これらのページの文と写真も、カブ隊M副長によるものです。～

